【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公表番号】特表2008-517297(P2008-517297A)
【公表日】平成20年5月22日(2008.5.22)
【年通号数】公開・登録公報2008-020
【出願番号】特願2007-537958(P2007-537958)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　27/28　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　27/416　　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　27/327　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　27/28　　Ｒ
Ｇ０１Ｎ　27/46　　３３８
Ｇ０１Ｎ　27/30　　３５３Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成20年10月16日(2008.10.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カートリッジにおいて、
流体試料の分析物質の濃度を測定するときに使用し得るようにされ、積層した位置にある複数の試験センサと、
内部と、少なくとも１つの壁と、センサー排出開口部とを有するハウジングであって、該ハウジングの内部に複数の試験センサを保持し得るようにされた前記ハウジングと、
前記ハウジングの少なくとも１つの壁内に配設された窓部であって、前記カートリッジのユーザが前記ハウジングの内部に残る試験センサの数を視覚的に判断することを許容する前記窓部と、を備え、
前記複数の試験センサを同時に１つずつセンサー分与開口部から分与し得るようにされたカートリッジ。
【請求項２】
請求項１に記載のカートリッジにおいて前記少なくとも１つの壁に数値目盛りを更に備え、前記数値目盛りは前記窓部に隣接する位置に配設される、カートリッジ。
【請求項３】
請求項２に記載のカートリッジにおいて、その上に前記複数の試験センサが積層される前記ハウジングの内部に配設されたプラットフォームを更に備え、前記数値目盛りに対する前記プラットフォームの位置は、前記ハウジングの内部に残る試験センサの数を示す、カートリッジ。
【請求項４】
請求項３に記載のカートリッジにおいて、前記プラットフォームは第一の色をしており、前記複数の試験センサは第二の色をしている、カートリッジ。
【請求項５】
請求項１に記載のカートリッジにおいて、前記窓部は複数のストリップ－カウント窓部を有する、カートリッジ。

【請求項６】
請求項５に記載のカートリッジにおいて、その上に前記複数の試験センサが積層された前記ハウジングの内部に配設されたプラットフォームを更に備え、前記プラットフォームは、その上に積層された前記複数の試験センサを第一の方向に押すように偏倚され、前記複数のストリップカウント窓部は、前記第一の方向に対しほぼ垂直な第二の方向に向けて形成される、カートリッジ。
【請求項７】
請求項６に記載のカートリッジにおいて、前記複数のストリップ－カウント窓部は、少なくとも２つの異なる長さを有する、カートリッジ。
【請求項８】
請求項６に記載のカートリッジにおいて、前記複数の試験センサの高さは、前記プラットフォームの高さと同一である、カートリッジ。
【請求項９】
請求項１に記載のカートリッジにおいて、該複数の試験センサの各々は試薬を含む流体受け入れ領域を有する、カートリッジ。
【請求項１０】
カートリッジを使用する方法において、
複数の試験センサと、ハウジングと、窓部とを保持するカートリッジであって、前記複数の試験センサは流体試料の分析物質を測定するときに使用し得るようにされ、前記複数の試験センサは積層した位置にあり、前記ハウジングは、内部と、少なくとも１つの壁と、センサー排出開口部とを有し、前記ハウジングは、前記ハウジングの内部に前記複数の試験センサを保持し得るようにされ、前記窓部は、前記ハウジングの前記少なくとも１つの壁内に配設される、前記カートリッジを提供するステップと、
前記ハウジングの内部に残る試験センサの数を前記窓部を介して視覚的に判断するステップと、を備えるカートリッジを使用する方法。